

気候変動適応地域づくり推進事業 近畿地域業務 令和6年度事業計画

令和6年9月

環境省近畿地方環境事務所
一般財団法人日本気象協会

事業概要（令和6年度）①

◆ 気候変動適応近畿広域協議会・分科会の運営・開催

気候変動適応近畿広域協議会

第12回：2024年9月9日開催、第13回 2025年2月開催予定

事務局：近畿地方環境事務所

アドバイザー委員会

暑熱対策FU分科会

2024年8月開催、
12月開催予定

ゲリラ豪雨対策FU分科会

2024年8月開催、
12月開催予定

お茶対策FU分科会

分科会の開催は休止中

普及啓発活動

企業研究会、セミナー、WS

※上記のFUはフォローアップの略称

<構成員>

- ・滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、堺市、神戸市
- ・近畿農政局、近畿中国森林管理局、近畿経済産業局、近畿地方整備局、近畿運輸局、神戸運輸監理部、大阪管区気象台
- ・滋賀県気候変動適応センター、おおさか気候変動適応センター、国立環境研究所、西日本農業研究センター、水産技術研究所、森林総合研究所関西支所、京都気候変動適応センター、兵庫県気候変動適応センター、和歌山県気候変動適応センター
- ・地域地球温暖化防止活動推進センター（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、大津市）

<アドバイザー>

敬称略 五十音順 ※座長

氏名	所属
白岩 立彦	京都大学 名誉教授
竹門 康弘	大阪公立大学国際基幹教育機構 客員研究員
中北 英一 ※	京都大学防災研究所 教授
中山 恵介	神戸大学大学院 工学研究科 教授
藤井 孝夫	京都先端科学大学 バイオ環境学部食農学科 特任教授
吉田 篤正	大阪公立大学 客員教授／早稲田大学 教授

事業概要（令和6年度）②

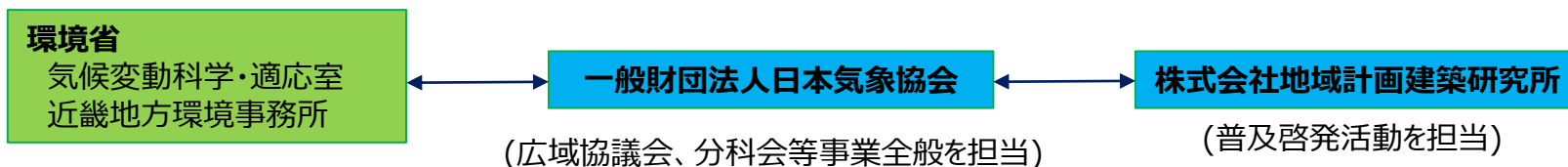
◆ 気候変動適応に関する普及啓発活動

- ・民間企業を対象とした気候変動影響の適応に関する研究会・セミナー・ワークショップ
 (企業研究会：9月～10月開催予定、セミナー・ワークショップ：12月～1月開催予定)

【令和6年度 スケジュール】

活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広域協議会						▲ 9月9日 第12回 (意見交換会も開催)					▲ 2月上旬 第13回	
暑熱対策 FU分科会					▲ 8月26日 第1回		▲ 10月 座談会		▲ 12月 第2回			
ゲリラ豪雨対策 FU分科会					▲ 8月20日 第1回		▲ 10月 意見交換会		▲ 12月 第2回			
お茶対策 FU分科会									▲ ヒアリング実施			
普及啓発活動						▲ 9月～10月 企業研究会			▲ 12月～1月 セミナー・ワークショップ			

【実施体制】



暑熱対策フォローアップ分科会 令和6年度事業計画

令和6年9月

一般財団法人日本気象協会

暑熱対策FU分科会 概要

テーマ：熱ストレス増大により都市生活で必要となる暑熱対策

大都市・観光地を多く擁す近畿地域は、都市部では気候変動に加えヒートアイランドの影響を強く受けることにより、熱中症搬送者数の増加が地域共通の課題となっている。また、祇園祭等の大規模な祭礼・屋外イベントが毎年夏季に多く開催され、今後は大阪・関西万博等の大規模イベントも予定されている。

本分科会は、令和4年度に策定された広域アクションプランに基づいて、イベント・観光時に着目し、地域一体で取り組むことで、より一層の効果をあげ、屋外における熱中症発生リスク低減に資する対策を実施することを目的とする。

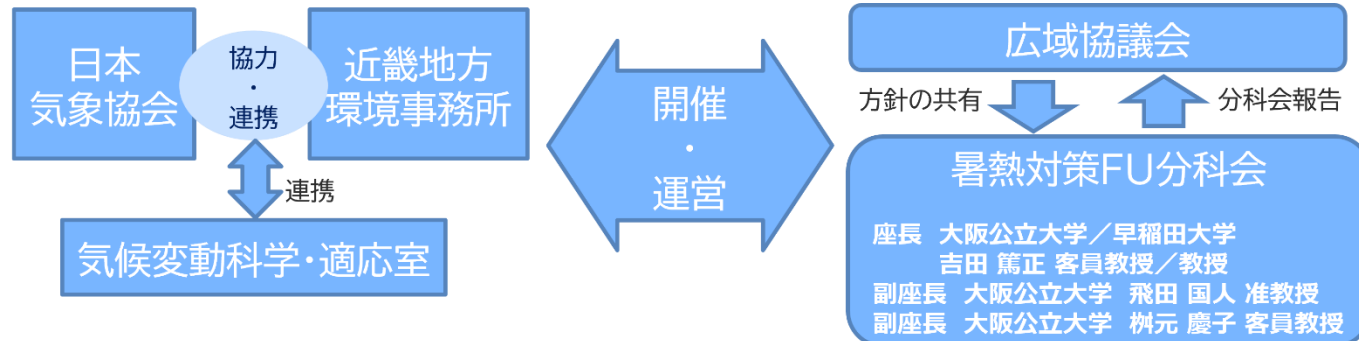
- <アドバイザー>** ※敬称略
- 座長：大阪公立大学 客員教授／早稲田大学 教授
吉田 篤正
(建築環境、環境技術)
- 副座長：大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 准教授 飛田 国人
(温熱環境、環境生理学)
- 副座長：大阪公立大学大学院 工学研究科 客員教授 柘元 慶子
(ヒートアイランド対策)

<メンバー>

令和6年9月現在

種別	メンバー
地方公共団体	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、京都市、大阪市、堺市、神戸市、泉大津市、茨木市、高槻市、富田林市、吹田市、東大阪市
地方支分部局	大阪管区气象台、大阪労働局
研究機関	国立環境研究所、滋賀県琵琶湖環境科学研究センター、兵庫県環境研究センター
地域気候変動適応センター	滋賀県気候変動適応センター、京都気候変動適応センター、おおさか気候変動適応センター、兵庫気候変動適応センター
地域地球温暖化防止活動推進センター	地球温暖化防止活動推進センター（滋賀県、京都府、大阪府、奈良県）

<実施体制>



暑熱対策FU分科会 実施スケジュール（案）（令和6年度）

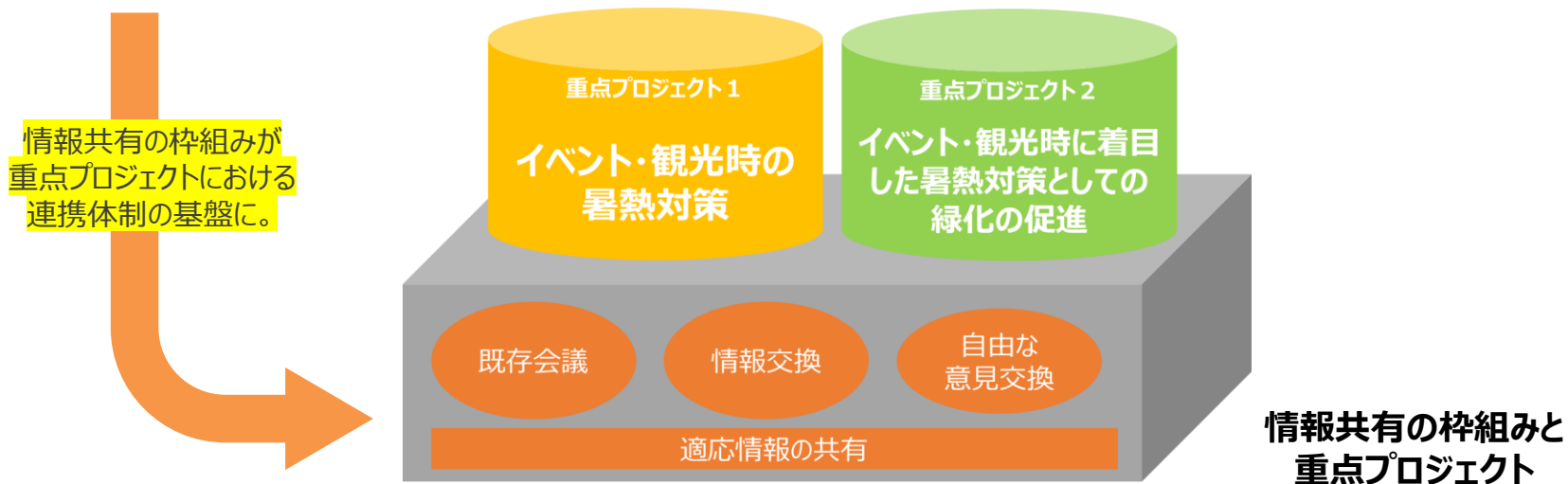
項目	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
近畿広域協議会				▲					▲	
暑熱対策FU分科会			▲				▲			
A-PLATでの 情報共有	A-PLATの既存情報の活用を推進するとともに、暑熱の適応策を具体的に進めるにあたって必要とする情報について自治体からの要望を上げる									
部局横断型研修	モデル自治体の選定・調整、実施準備			▲ 研修実施	取りまとめ、次回の研修へ向けた調整			座談会、分科会での意見を考慮した研修実施マニュアル骨子の作成		
ML (メーリングリスト)	事務局と自治体の双方向の情報交換									
座談会	座談会実施準備				▲ 座談会実施	取りまとめ、A-PLAT・部局横断型研修・MLへの反映			フィードバックへの対応、次回の実施準備	
重点プロジェクト① イベント・観光時の暑熱対策	<ul style="list-style-type: none"> 自治体のイベント等で、実際の普及啓発活動事例の手助けとなる取組を実施 伝統的祭礼の主催者団体との情報交換を行うとともに、一般観光客を対象とした暑熱対策を実施 					取りまとめ、分科会メンバーの意見をふまえ来年度に向けた取組内容の検討				
重点プロジェクト② イベント・観光時に着目した暑熱対策としての緑化の促進	部局横断型研修・ML・座談会等により、自治体間での緑化の優良事例の共有を推進する									
アドバイザー委員会								▲		
適応全国大会										▲

暑熱対策FU分科会 実施スケジュール（案）（令和5～7年度）

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
近畿広域協議会	年2回程度開催	分科会の取組の現状・課題等を報告し、専門家等から助言を頂く	
暑熱対策FU分科会	年2回程度開催	各実施内容の状況を分科会構成員に共有し、全体の方針や進め方について議論する	
A-PLATでの情報共有		事務局が主導してMLや座談会で自治体ニーズを収集し、国立環境研究所に要望をあげる	その後も必要に応じて適宜要望をあげ、A-PLATをさらに活用する
部局横断型研修	事務局主導で情報共有を活性化	試行実施	国との協力を得ながら情報基盤を確実にする
ML（メーリングリスト）	事務局と自治体の双方向の情報交換	自治体を対象として実施	研修実施マニュアル骨子作成
座談会	関係部局・関係者間での忌憚のない意見交換や議論（年1回程度開催）	令和6年度以降、自治体間でのさらなる活用を見込む	研修実施マニュアル作成
重点プロジェクト① イベント・観光時の暑熱対策	事務局は自治体の活動をサポート	近畿広域日傘キャンペーンの実施方針を確認・調整 日傘普及啓発のチラシひな型やマニュアルを作成	MLでチラシひな型やマニュアルを配布するなど、自治体の取組に役立つ実施結果を振り返り、さらに効果的な方法を検討する
重点プロジェクト② イベント・観光時に着目した暑熱対策としての緑化の促進		伝統的祭礼の主催団体との情報交換・情報提供を行う	一般観光客を対象とした暑熱対策もあわせて実施
		部局横断型研修・ML・座談会等により、自治体間での緑化の有効事例の共有を推進する （優良事例を実施した自治体からの分科会・座談会での話題提供など）	自治体が主体的に活用

暑熱対策FU分科会 広域アクションプランの概要

方法	内容
気候変動適応 近畿広域協議会	各年度、2回程度開催。暑熱に関する取組の現状、課題等を報告し、専門家等から助言を頂く。
分科会	各年度、2回程度開催。各自治体の適応アクション実施状況を共有し、議論する。
A-PLATでの 情報共有	暑熱関連の適応に必要な自治体のニーズを収集し、とりまとめて国立環境研究所に要望をあげ、より活用を進める。
部局横断型研修	部署間連携の入口となる研修を実施する。曝露・脆弱性に関わる施策を所管している複数部署と共通に受講し、当事者としての認識をつかっていく。
ML（メーリングリスト）	事務局・自治体の双方向の情報交換として、暑熱・熱中症関連の情報、自治体での取組等を共有する。
座談会	各年度、1回程度開催。座談会は、広域会や分科会で十分に議論できないことを忌憚なく意見交換、議論できる場とする。



暑熱対策FU分科会 連携体制の推進

◎ 適応情報の共有

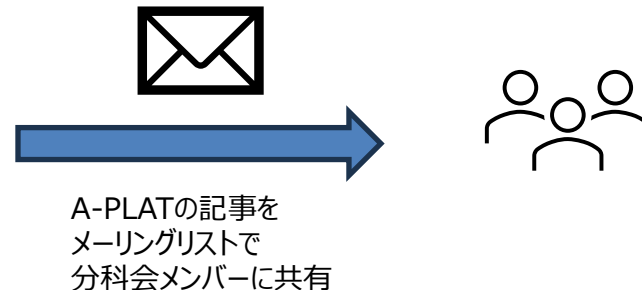
・A-PLATでの情報共有

■ 概要

A-PLATの既存情報の活用を推進するとともに、暑熱の適応策を具体的に進めるにあたって必要とする情報について自治体からの要望を上げ、A-PLAT上での情報共有・活用をさらに充実させていく。

■ 令和6年度実施内容（案）

- 暑熱関連の**A-PLAT記事の概要とリンクをメーリングリストで共有**する方法を令和6年度以降実施する。
- また、分科会や座談会等で必要に応じてアンケート等を実施し、分科会メンバーからA-PLATをより有効活用するためのコンテンツ案が要望としてあがってきた際は、国立環境研究所（気候変動適応センター）に随時相談し、自治体におけるA-PLATのさらなる活用に向けて検討を進める。



暑熱対策FU分科会 連携体制の推進

◎ 適応情報の共有

・部局横断型研修

■ 概要

暑熱対策を部局間で協働して実施する必要性について共通認識をもつことを目的とし、気候変動適応の基本的知識と曝露・脆弱性対策に関して、関係者（環境部局以外に、曝露・脆弱性対策を実行できる部署等を含む）が共通に受講できる研修を実施する。

研修はワークショップと講義を組み合わせた形式とし、参加者が適応の観点を自部局の施策へ組込むことの必要性に気づくことで、庁内及び広域での連携体制強化のきっかけとなるよう働きかける。

■ 令和6年度実施内容（案）

- 令和5年度は日本気象協会内で部局横断型研修の試行実施をした。また、部局横断型研修の今後の在り方について検討し、将来的に自治体が主体となって研修を実施できるよう、以下の方針とした。
 - ✓ 本事業の3年間は事務局主導で研修を実施する。その間、研修実施に関する経験やノウハウを蓄積し、自治体自身でも研修を実施できるよう研修実施マニュアルを整備する。
 - ✓ 本事業終了後は、研修実施マニュアルを参考に自治体が主体となって研修を実施する。
- 令和6年度は**モデル自治体を設定して自治体職員向けに部局横断型研修を実施**する。
- また、自治体職員向けの研修をもとに**研修実施マニュアルの骨子を作成**し、分科会メンバーの意見を取り入れながら検討を重ね、令和7年度の研修実施マニュアル策定を目指す。
- 独立行政法人環境再生保全機構（ERCA）において、気候変動適応法の改正に関連して47都道府県に対する複数部局を対象とした研修実施を令和6年度以降に予定しており、ERCAとも随時情報交換を行いつつ必要に応じて連携を取りながら進めていく。

暑熱対策FU分科会 連携体制の推進

◎ 情報交換

・ML（メーリングリスト）

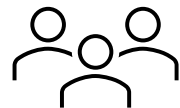
■ 概要

近畿地域の暑熱対策関係者間で普段から広域連携を行い、近畿地域一体となって脆弱性対策や曝露対策に取り組むため、事務局及び自治体間で情報交換を行うための日常的な手段としてML（メーリングリスト）を活用する。暑熱関連のマスコミ記事やメンバーの取組みの紹介など有用な情報を共有する。また、自治体に対するアンケートや意見募集など、事務局と自治体の双方向の情報交換に利用する。令和5年度は、46件のアドレス登録があり、16件の投稿がされた（事務局発信のもの含む）

■ 令和6年度実施内容（案）

- 令和5年度に引き続きMLの運用を行い、令和6年度以降は自治体間の情報共有を促進するために**自治体からの話題投稿も多数行っていただけるよう働きかける**ことで、MLのさらなる活性化を目指す。

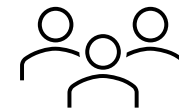
自治体からの話題投稿を働きかける
（暑熱対策を実施している自治体にコンタクトを取り、MLへの投稿を依頼する等）



自治体
分科会メンバー



事務局からの投稿は昨年度に引き続き実施する



事務局

暑熱対策FU分科会 連携体制の推進

◎ 自由な意見交換

・座談会

■ 概要

関係部局や関係者間で忌憚のない意見交換や議論ができる場として座談会を開催し、府県、市町村、地域気候変動適応センター等の横のつながりを深め、各所での暑熱対策への取組状況や現在抱えている課題、問題解決の手助けになったことなどをざっくばらんに話す機会を設ける。

■ 令和6年度実施内容（案）

- 令和5年度と同様に実施時期は**10月頃**を想定し、**今年度の暑熱状況や対策の情報共有・振り返り**を行い、**次年度以降の対策の在り方**について意見交換等を実施する。
- 気候変動適応改正法は令和5年6月に一部前倒しで施行され、令和6年4月より全面施行が開始された。改正法では、熱中症対策実行計画の法定化によりこれまで以上に政府が一体となった熱中症対策が推進されている。また、熱中症特別警戒アラートの運用が開始され、市町村長が指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）として指定、民間団体等（NPO法人等）を熱中症対策普及団体として指定できるなど、国は熱中症対策の一層の強化を進めている。このような背景をふまえ、**各自治体での対応状況や課題、国への要望・意見**についても座談会のテーマとして取り上げることが予定する。



<座談会内容案>

- 今年度の暑熱状況や対策の情報共有・振り返り
- 次年度以降の対策の在り方について
- 法改正に関連する各自治体での対応状況や課題、国への要望・意見
- 話題提供など

暑熱対策FU分科会 重点プロジェクト

① イベント・観光時の暑熱対策

(1) 「近畿広域日傘キャンペーン」

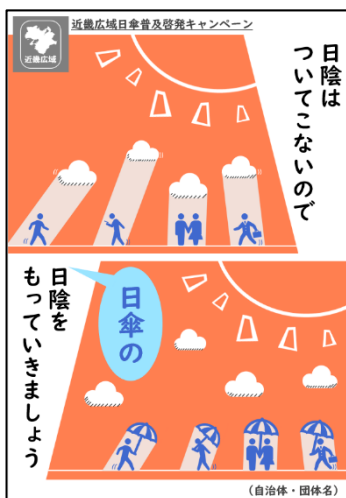
■ 概要

近畿地域における課題である道路での熱中症を減らす広域アクションとして、地域でいっせいに日傘の利用を推奨する「近畿広域日傘キャンペーン」を実施する。

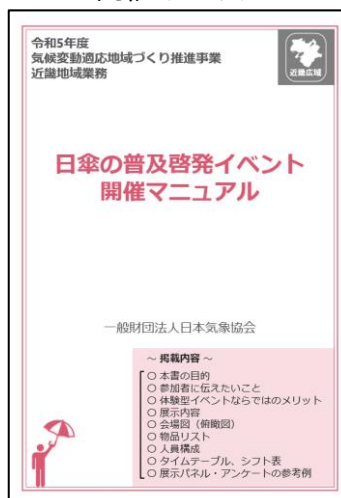
■ 令和6年度実施内容（案）

- 令和6年度は日傘普及啓発イベント等を実施予定の自治体に日傘普及啓発チラシやイベント開催マニュアルを活用いただくなど、実際の**普及啓発事例の手助けとなる取組を実施**し、令和7年度に向けて自治体が主体的に日傘普及啓発活動に取り組めるようサポートする。
- また、必要に応じて令和7年度の大阪・関西万博への情報提供や日傘を推奨するアクションの提案を検討する。

日傘普及啓発チラシ



日傘の普及啓発イベント
開催マニュアル



近畿広域ロゴ



暑熱対策FU分科会 重点プロジェクト

① イベント・観光時の暑熱対策

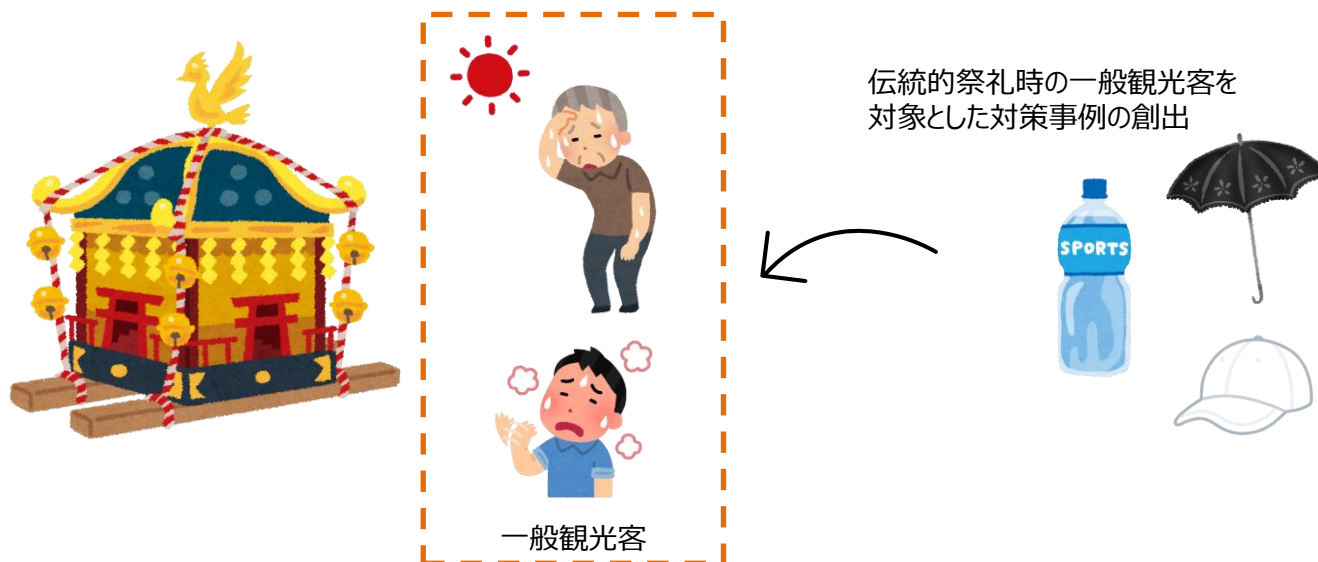
(2) 伝統的祭礼実施時の暑熱対策

■ 概要

伝統的祭礼における暑熱対策の検討へのサポートとなるよう情報交換等を行い、さらに効果的な暑熱対策の検討に役立てていただく。

■ 令和6年度実施内容（案）

- 令和6年度は主催団体へのサポートに加え、一般観光客を対象とした暑熱対策として、ボランティア団体や観光協会、熱中症対策グッズを取り扱う企業等と協力した対策の実施等を行い、自治体におけるイベント等の暑熱対策実施の手助けとなるよう**対策事例を創出**する。



暑熱対策FU分科会 重点プロジェクト

② イベント・観光時に着目した暑熱対策としての緑化の促進

■ 概要

イベント・観光時に着目した暑熱対策としての緑化の促進として、各自治体における緑化の促進に向けた活動のサポートとなる情報共有を行う。

■ 令和6年度実施内容（案）

- 部局横断型研修・ML・座談会等で緑化の優良事例を自治体間で共有することにより、各自治体での中長期的な緑化の促進に向けた手助けとする。
(例：近畿エリアで緑化に取り組んだ自治体から分科会・座談会等で話題提供する等)



- 緑化の優良事例を収集
- 優良事例に取り組んだ自治体から分科会・座談会等で話題提供する等

ゲリラ豪雨対策フォローアップ分科会 令和6年度事業計画

令和6年9月

一般財団法人日本気象協会

ゲリラ豪雨対策FU分科会 実施スケジュール及び概要

内容／事業年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①施設のゲリラ豪雨対策の実施状況の整理と対策推進	<p>→</p> <p>(1)対策実施部局への展開</p>	<p>→</p> <p>(2)中小規模施設の実例取りまとめ</p>	<p>→</p> <p>(3)中小規模施設の実例展開</p>
②ゲリラ豪雨関連情報の有効活用検討	<p>→</p> <p>(1)宇治市におけるモデルケースの展開・拡張</p>	<p>→</p> <p>(2)他中学校への展開 教材作成</p>	<p>→</p> <p>(3)他市町村、組織への展開</p>
③ゲリラ豪雨対策に関する啓発・教育	<p>→</p> <p>(1)他機関との連携 (2)事例の検討</p>	<p>→</p> <p>(3)実例の創出</p>	<p>→</p> <p>(4)他機関等への展開</p>

- ①中小規模施設のゲリラ豪雨対策状況取りまとめについて、宇治市植物公園や危機管理室との連携を検討する。
- ②宇治市の2校(南宇治中学校、東宇治中学校)にて豪雨情報活用実証を継続する。次年度以降の拡張展開も見据え、映像教材の開発を実施する。
- ③市民団体と連携し、神戸市の「人と防災未来センター」において、都賀川水難事故・ゲリラ豪雨に関する啓発展示・WSを実施する。

ゲリラ豪雨対策FU分科会 実施スケジュール（案）（令和6年度）

【令和6年度 スケジュール（案）】

項目	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
近畿広域協議会				○					○	
ゲリラ豪雨対策FU分科会			○		意見交換会 □		○			
項目① 施設のゲリラ豪雨対策の実施状況 の整理と対策推進	→			→			→			
		中小規模施設における 対策事例収集・取りまとめ				他施設等への展開検討				
調査項目② ゲリラ豪雨関連情報の 有効活用検討	→	→			→					
	実施準備	有効活用実証			取りまとめと課題検討 動画等教材作成					
調査項目③ ゲリラ豪雨対策に関する啓発・教育	→	→			→					
	展示準備	人と防災未来センター における企画展示			企画展示を踏まえた 展開・拡張検討					
アドバイザー委員会								○		
適応全国大会										○

ゲリラ豪雨関連情報の活用実証(今年度の実施内容)

実施対象

宇治市の南宇治中学校（継続校）1年生2クラス、東宇治中学校（新規校）1年生5クラス

実施期間

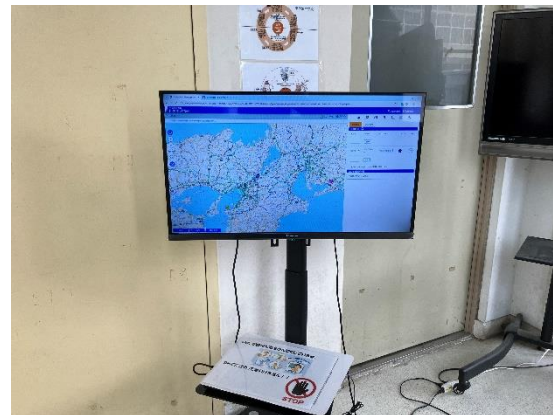
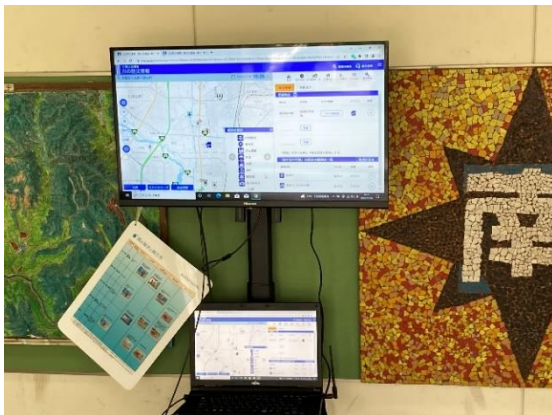
- 事前授業(事前アンケート)：7月16日(東宇治中学校)、7月17日(南宇治中学校)
- ゲリラ豪雨関連情報の活用実証：2024年7月(梅雨明け)～9月末まで
- 振り返り授業(事後アンケート)：10月24日(予定)

実施方法

- 中学校へのモニター＋スマートフォンによるXRRAIN観測サイト閲覧
- 今後の拡張へ向けて、ビデオ教材の開発・活用も検討

拡張性検討

- 他地域・他対象への展開
- 自律的実行方法の検討



人と防災未来センターにおける企画展示

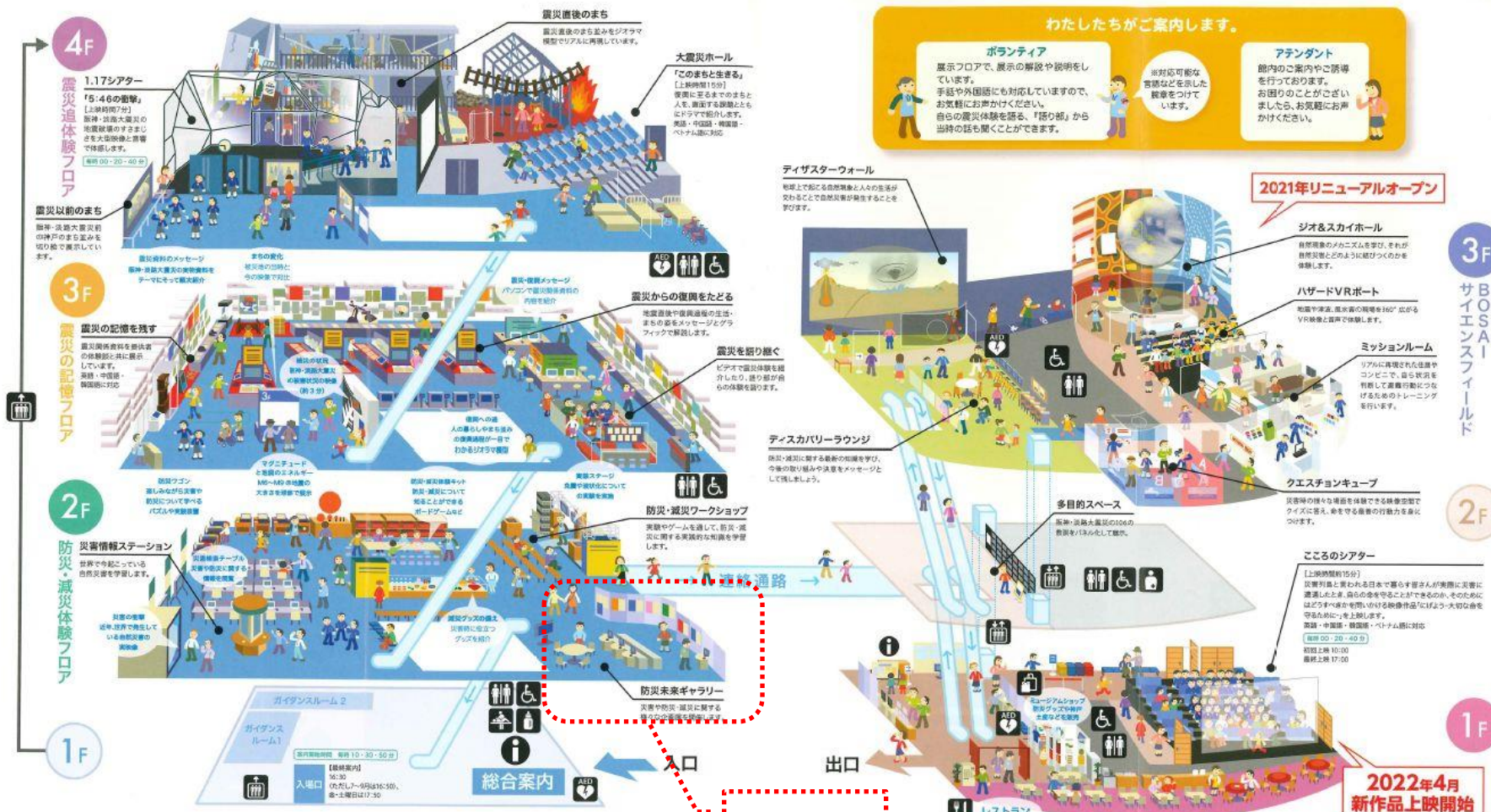
◆ 西館2階防災未来ギャラリーにて展示を実施中

西館 展示ゾーン

West Building Exhibition Zone

東館 展示ゾーン

East Building Exhibition Zone



人と防災未来センター展示全体図

人と防災未来センターにおける展示について(概要)

◆ 企画展示について

項目	内容
実施時期	7月6日～9月末まで ※都賀川水難事故発生の7月28日を含む
展示場所	西館2階防災未来ギャラリー（有料観覧エリア）
展示内容	パネル展示や映像展示を中心とした、都賀川水難事故に関する啓発展示、ゲリラ豪雨と防災に関する啓発展示も含む
実施者	気候変動適応近畿広域協議会ゲリラ豪雨対策フォローアップ分科会 7月28日を「子どもの命を守る日」に 実行委員会（共催）



企画展示の展示内容例

◆ 展示パネル(例)



都賀川の増水と警報装置

ゲリラ豪雨とレーダーによる観測



企画展示の展示内容例

◆ 展示内容(例)



都賀川水難事故発生時の映像(オリジナル資料：数分程度)、
最新の豪雨観測技術(XRAINやフェイズドアレイレーダー観測)
既存Webサイト（国土交通省：川の防災情報）の紹介等

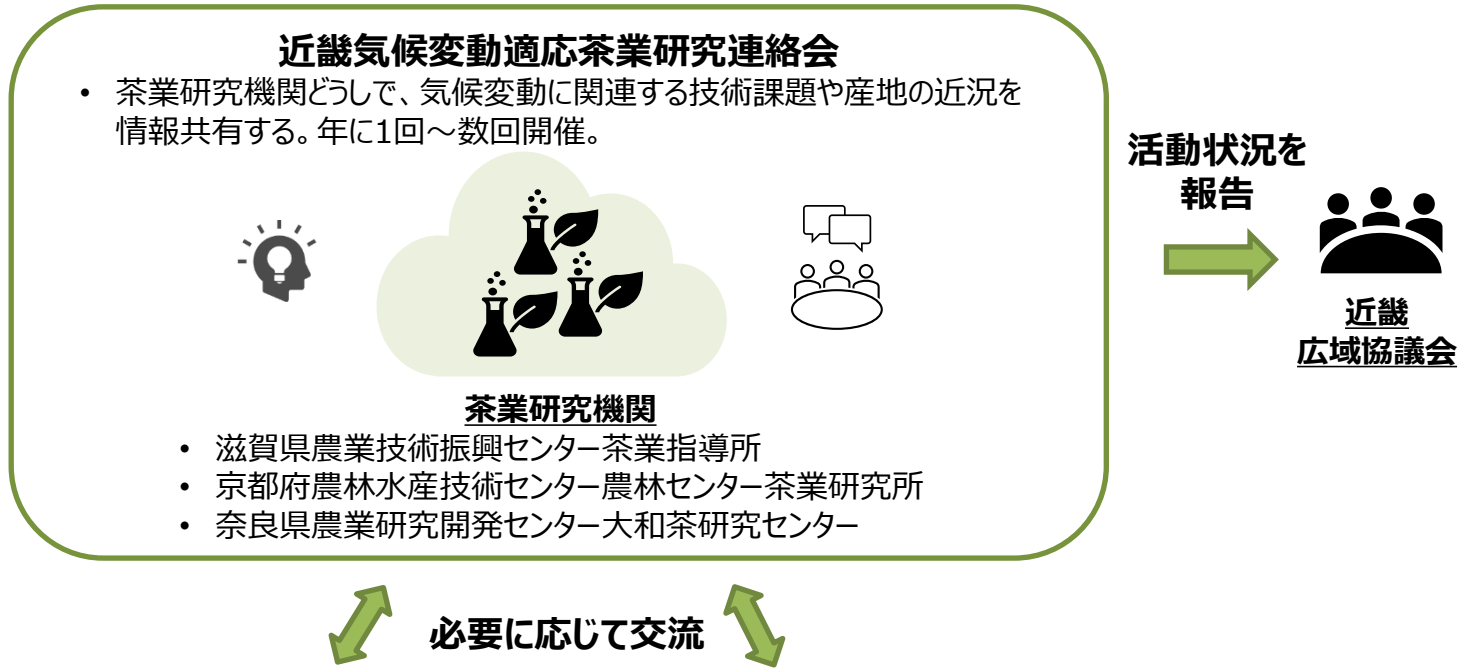
お茶対策フォローアップ分科会 令和6年度事業計画

令和6年9月

一般財団法人日本気象協会

お茶対策FU分科会 実施内容

- 適応アクションの実施主体である「近畿気候変動適応茶業研究連絡会」（茶業研究機関）の活動状況について、事務局（日本気象協会）よりヒアリングする。（12月頃を予定）
- ヒアリングした内容を近畿広域協議会（1月頃）に報告する。
- 必要に応じて、アドバイザー／オブザーバーおよび意見交換メンバーとの交流を目的とした座談会を開催する。



アドバイザー／オブザーバー

- 必要に応じて、気候変動やその他さまざまな観点からアドバイスや知見等を共有する。

（関連省庁、気候変動適応センター、自治体など）

意見交換メンバー

- 必要に応じて、必要な所と、意見交換・情報交換などを行う。

（茶生産者、農業研究機関、民間企業など）

普及啓発活動 令和6年度実施計画

令和6年9月

一般財団法人日本気象協会
株式会社地域計画建築研究所

普及啓発活動 令和6年度の事業概要

- 気候変動影響と民間企業が実施すべき緩和策及び適応策に関する理解と取組を推進することを目的に、近畿地域内民間企業の担当者等の参加による気候変動影響に関する研究会を開催する。
- また、近畿地域内民間企業の経営者や担当者等の参加によるセミナー及びワークショップを開催する。

令和5年度事業で示唆された①気象災害に対する防災や事業継続に係る既存の取組事例の収集・発信、②参加者が「腹落ち」する人材研修の実施、③社会全体で一体となった取組の推進、④緩和策と適応策のカップリングでの検討、以上4点に取り組む。

研究会の開催

【テーマ（案）】

TCFD、TNFD×気候変動適応推進
社内・サプライヤーへの適応策推進に向けて

【参加企業】20社程度 【実施時期】9～10月

【研究会内容】

- TCFD及びTNFDを前提に取り組んでいる内容を紹介／アンケート結果紹介／気候変動適応推進に向けた人材育成に関するテーマの意見交換

【その他】

- 研究会前に各企業へ、上記テーマ案に関する取組と推進する上での効果や課題について把握した上で研究会を企画。

セミナー及びワークショップの開催

【実施時期】12月または1月 平日午後の3時間30分程度

【集客】セミナー40名程度 / WS セミナー参加者のうち20名程度

【プログラム案】

- 前半：セミナー(90分)
話題提供「TCFD、TNFD×気候変動適応推進に関する最新動向（TCFD、TNFD）や事例」(2話題)
質疑・ディスカッション(コーディネーター畑中直樹/大阪大学招聘教員)
- 後半：ワークショップ100分
ワークショップ「××年○月○日に、○○（気候変動影響）が起こった時、あらゆる分野でどのような影響があるだろうか？」
(想定される災害、被害、事前事後の緩和策・適応策の検討等)

【令和6年度スケジュール】

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研究会企画		研究会実施						
	アンケート実施		セミナー・ワークショップ企画・広報		セミナー・ワークショップ実施		とりまとめ	